

「人生を変える出会い」

私がどのようにして、神様を信じるようになったかを簡単に書きたいと思います。

私は山東家に長男として生まれ、私が小学2年生の頃に父が牧師になりました。父、母と、年子の弟の4人暮らしです。牧師の家庭で育つことによって、私の中では教会生活が当たり前のことでした。

高校受験を失敗し、挫折を経験して始まった高校生活が私を大きく変えたと今では思います。実際のところ、中学3年生までは神様を信じていませんでした。イエス様の十字架が私の罪のため…なんて、心から信じることはできませんでした。

しかし、先ほども述べましたように、挫折が私の心の中を空っぽにしたのです。全ての思いが消え去り、“0”になりました。この年齢での受験の傷はなかなか大きいものでした。本当に不安でいっぱいでした。そんな時、ある方がこの聖書の言葉をくださいました。

しもべは、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、または一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはありません。」 聖書

私がなぜ落ち込んでいたかという、自分の力を過信していたからです。神様だけに信頼せず、富をも追い求めている自分の罪に気付かされました。この渴いた心を潤してくれるのは富ではなく、神様であると、その時決断することができました。なぜか神様の愛の語りかけが、私の耳に、私の心に、響いたのです。今までの常識を覆すような挫折があったからこそ、常識を覆すような“神を信じる”という決断ができたのだと思います。

それからというもの、聖書を読むのが大好きになりました。神様は私にタイムリーに聖書を通して語りかけてくださるからです。神様に繋がっていることによって、自分が大きく変えられていくことを体験しました。今もしています！

そして今、大学3年生となった私は、今年度 ACF で会長として仕えさせて頂いています。本当に驚きです。ただ神様に感謝します。これからもずっと、神様に、教会に、人に仕えていきたいと思えます。神様だけを見つめて！ ありがとうございます。